

# ユーザー補助に関する保護者向けガイド

あらゆる生徒に配慮した教育



同じクラスで学んでいても、学び方はさまざまです。お子様が学校で Google ツールを利用している方法と、それらのツールをご自宅でも継続してご利用いただく方法について紹介します。

## Chromebook と G Suite for Education のユーザー補助ツールについて

Chromebook は、クラウド上で動作するように設計されているデバイスです。ファイルやアプリだけでなく、デスクトップまでオンラインにあるので、ログインすればどこからでも利用できます。Chromebook には、ユーザー補助機能が搭載されています。いったんカスタマイズしたユーザー補助機能の設定は、どこでログインしても適用されます。G Suite for Education は、生産性向上とコラボレーションのためのクラウドベースのツールセットで、Gmail、Google Classroom、ドキュメント、スライド、スプレッドシートなどが含まれています。生徒と教師による場所を選ばないリアルタイムでの共同作業を可能にするほか、ユーザー補助機能も組み込まれています。



聴覚に障がいのあるお子様、学習や情報処理に課題を抱えているお子様、そしてさまざまな言語で学習を進めているお子様にも、便利にご活用いただけます。

Google スライドや Google Meet で自動字幕起こし機能を利用すると、話者の言葉がリアルタイムで画面下部に表示されます。



運動障がいを抱えているお子様の場合は、次の機能をお役立ていただける可能性があります。

画面上でのテキスト入力やバーチャル手書きについては、Chromebook の画面キーボードをご利用いただけます。

カーソルの動きが一定時間にわたって停止した場合に、自動クリック、右クリック、スクロールなどの操作を行うよう設定できます。

固定キー機能も用意されており、修飾キーを同時に押さなくても、連続入力ですhortカット キーを利用できます。

音声入力機能を利用すると、入力が必要な場合でも Chromebook に話しかけることで、ほとんどの場所で音声入力できます。ドキュメントとスライドでは音声入力機能を利用して、キーボードを使わずに入力、編集、テキストの書式設定を行えます。



視覚に障害のあるお子様の場合は、次の機能をお試しいただけます。

組み込みの拡大鏡、高コントラストモード、マウスカーソルのハイライト表示のほか、Google Chrome アプリや拡張機能で追加のサポートも利用できます。

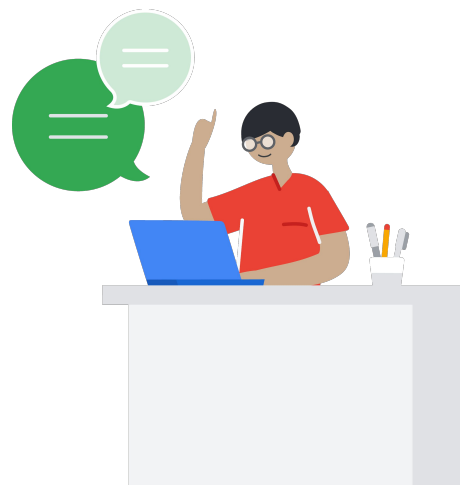
音声フィードバック機能を利用すると、選択したコンテンツが画面上で1語ずつハイライトされて読み上げられます。また、組み込みの ChromeVox スクリーンリーダーを使って、すべてのテキストを読み上げるようにすることもできます。

G Suite は、ChromeVox、JAWS、NVDA、Talkback といった普及しているスクリーンリーダーと連携するよう設計されています。Chrome OS の拡大機能や Zoomtext など、拡大とコントラスト向上の機能のほか、スイッチ デバイスや点字ディスプレイといった代替のキーボード入力機能も用意されています。

ほかにも Android や Google アシスタントなど、ご家族で便利にご利用いただける Google ツールが数多くあります。

Android デバイスには障がいを持つユーザー向けの機能が多数搭載されており、多くの教育者や生徒の方々が、授業中に便利に活用されています。Android のユーザー補助ツールについて詳しくは、[Android のユーザー補助機能に関するウェブサイトの記事](#) でご確認ください。

- Pixel スマートフォンをご利用であれば、スマートフォン上で [自動字幕起こし機能](#) を使って、動画、ポッドキャスト、音声メッセージなど、あらゆるメディアにリアルタイムで字幕を自動で追加できるので、聴覚に障がいをお持ちのお子様にお役立ていただけます。
- Android では、[音声文字変換](#) が無料で提供されています。そのため、聴覚に障害のあるご家族と対面で日常会話をする際にも、リアルタイムで音声文字変換された字幕をご利用いただけます。この機能は Wi-Fi やモバイルデータ サービスがなくてもお使いいただけます。
- [Voice Access](#) を利用すると、音声でスマートフォン を操作して、アプリを開いたり、画面を切り替えたり、メッセージを入力したりできます。視覚に障がいのあるお子様については、Android スマートフォンで Google アシスタントに「[読み上げて](#)」と話しかけることで、ウェブの記事を読み上げるようにしたり、デジタル資料を使った学習を進めたりすることができます。



詳しく知りたいことがあれば、  
お子様に質問してみてください。

- 勉強のときにどんなアプリを使っているの？
- 授業中に勉強をやりやすくするためにどんなツールを利用しているの？
- 学校では、音声入力や字幕を使っているの？

Google のユーザー補助機能と  
Google for Education について  
の詳細をご覧ください。

トレーニングとリソースについては、[G Suite](#) と [Chromebook](#) のユーザー補助機能に関するヘルプセンターでご確認ください。また、[動画チュートリアル\(英語\)](#) もご視聴いただけます。

[Android の機能とその利用方法](#)についても、詳細をご覧ください。